

第6回天気予報研究会の開催のお知らせ

第6回天気予報研究会を下記要領で開催します。入場は無料です。なお、講演要旨については気象学会の天気予報研究連絡会のホームページに掲載していません。

日時：2009年1月30日（金）13時30分～17時30分

場所：気象庁講堂（気象庁2階）

（「天気」55巻7号618頁でご案内しました開催予定場所は、気象庁講堂に変更されましたのでご注意ください）

発表題目（発表順）：

[総合講演]

竜巻とダウンバースト

—わが国における実態とその観測—

小林文明（防衛大学校地球海洋学科）

[講演]

1. 羽田空港における気圧急下降および北東強風事例の解析
河原直孝（東京航空地方気象台）

2. ロープ雲を伴う寒冷前線の構造と形成過程の事例解析

神津友武・山岸米二郎

（NPO 気象環境教育センター）

3. レーダー三次元データ、雷監視システム及び数値予報資料を用いた雷短時間予測

平原 淳・宮城仁史（気象庁観測部）

4. 強風ノウキャスト手法の開発と検証

守屋 岳（日本気象協会）

5. 局所アンサンブル変換カルマンフィルター（LETKF）やメソ解析をもちいた日本域豪雨実験

瀬古 弘・小司禎教・斉藤和雄（気象研究所）

6. 地上 GPS 大気遅延量のメソ数値予報での利用

石川宜広（気象庁予報部）

主催：日本気象学会天気予報研究連絡会

問い合わせ先：古川武彦（気象コンパス）

takefuru@eos.ocn.ne.jp